

まちづくりアンケート（基礎調査）結果

1、新市建設計画策定にかかる基礎調査の概要

新市建設計画に先立ち策定される新市基本構想において、住民の意向を反映することを目的にまちづくりアンケート調査を実施しました。

実施概要及び集計の概要は次のとおりです。

調査実施の概要

- ・調査対象 平成16年1月1日現在、両町村内に住所を有する満16歳以上の住民3,000人
- ・抽出方法 両町村の住民基本台帳をサンプリング台帳とし、両町村人口比によりサンプル数を振り分けた後、更に男女別・年代別で振り分け、個人を無作為に抽出
- ・配布回収 郵送による配布・回収
- ・回収期間 平成16年1月30日から2月13日までの15日間（ただし、締め切り後も、集計作業に支障のないものはカウントした）

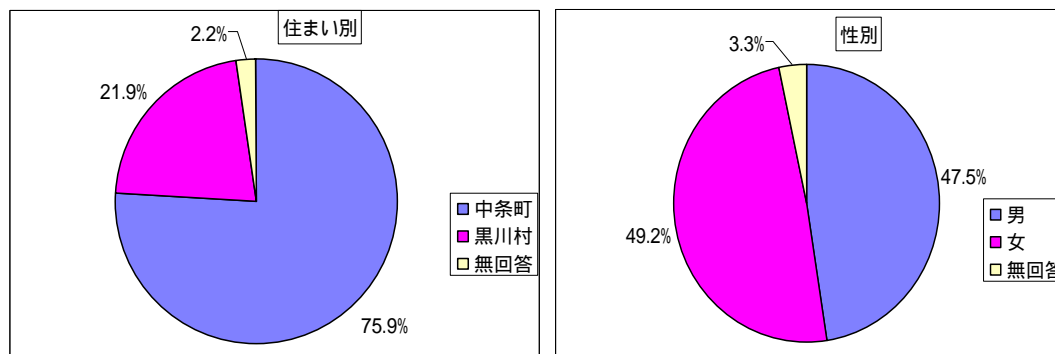
調査集計の概要

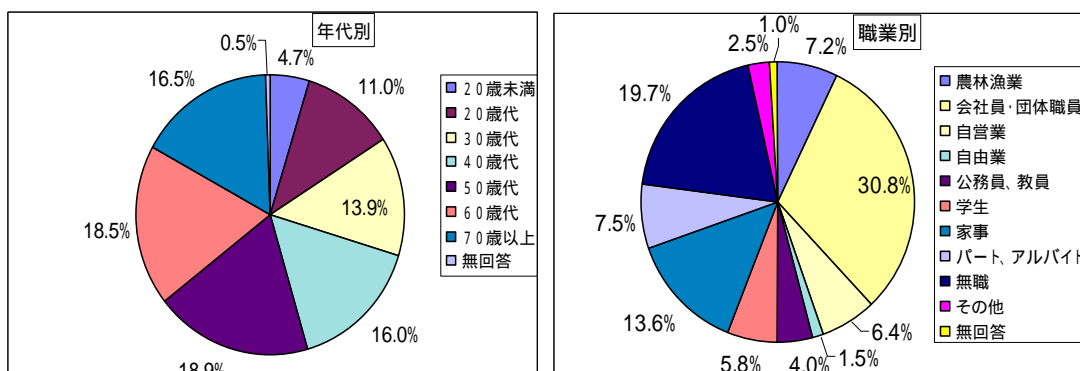
- ・回収状況 下記のとおり

【全体、両町村回収率】

区 分	配布数	回収数（通）	回収率（％）
合 計	3,000	1,749	58.30
中条町	2,458	1,328	54.03
黒川村	542	383	70.66

- ・回答者内訳 下記のとおり



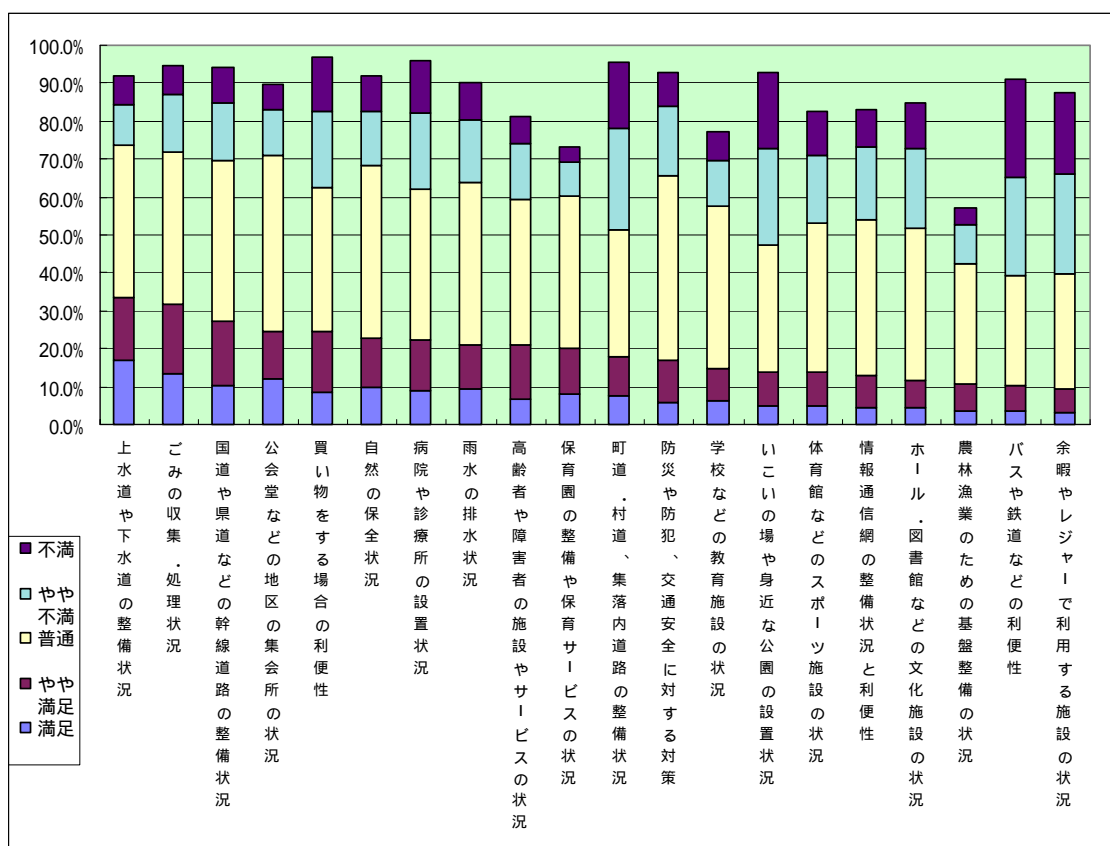


2、基礎調査の集計

(1) 現状に対する満足度

初めに、両町村がそれぞれの地域で行ってきた整備の状況を押し量る調査として、満足度をひとつの指標として用いました。

居住地における生活の便利さや環境について、用意した施策・事業20項目のうち、現状で「満足」という回答が一番高かったのは「上水道や下水道の整備状況について」の17.0%、「不満」という回答が一番高かったのは「バスや鉄道などの利便性について」の25.8%となりました。



【「満足」の割合の高い3項目】

1	上下水道整備状況 (17.0%)	2	ごみの収集・処理状況 (13.3%)	3	公会堂・集会場の状況 (12.0%)
---	---------------------	---	-----------------------	---	-----------------------

【「不満」の割合の高い3項目】

1	バスや鉄道などの利便性 (25.8%)	2	余暇・レジャー施設の状況 (21.7%)	3	憩いの場・公園の設置状況 (20.0%)
---	------------------------	---	-------------------------	---	-------------------------

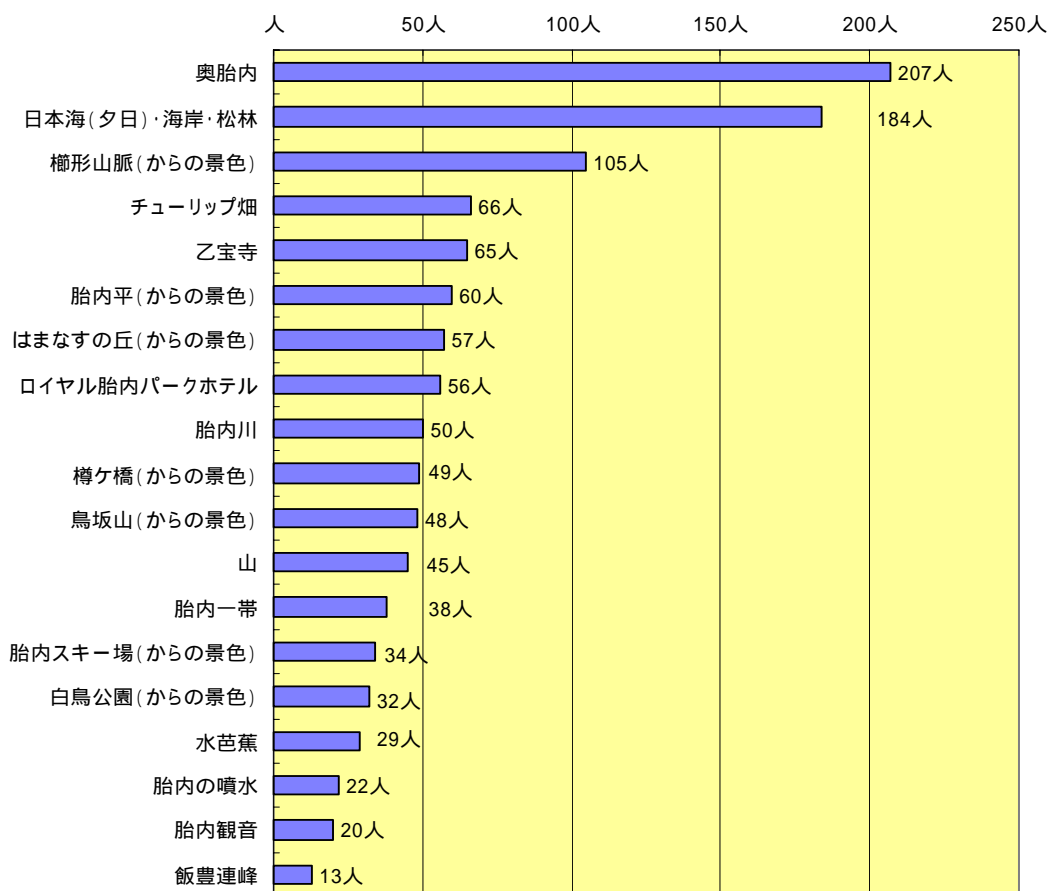
(2) エリア内の好きな風景・自慢できるもの

両地域のエリア内で、回答者のお勧めのスポットを聴取することにより、新市に生かすべき資源を再認識するため、「美しい風景・景色」と「自慢できるもの(物)」について記述形式でお答えいただきました。

美しい風景や景色(具体的な場所など)

結果、1,039人(回答者の59.4%)の方からご記入いただき、複数の記載を含め1,432の回答を分類しました。

(複数回答あり)

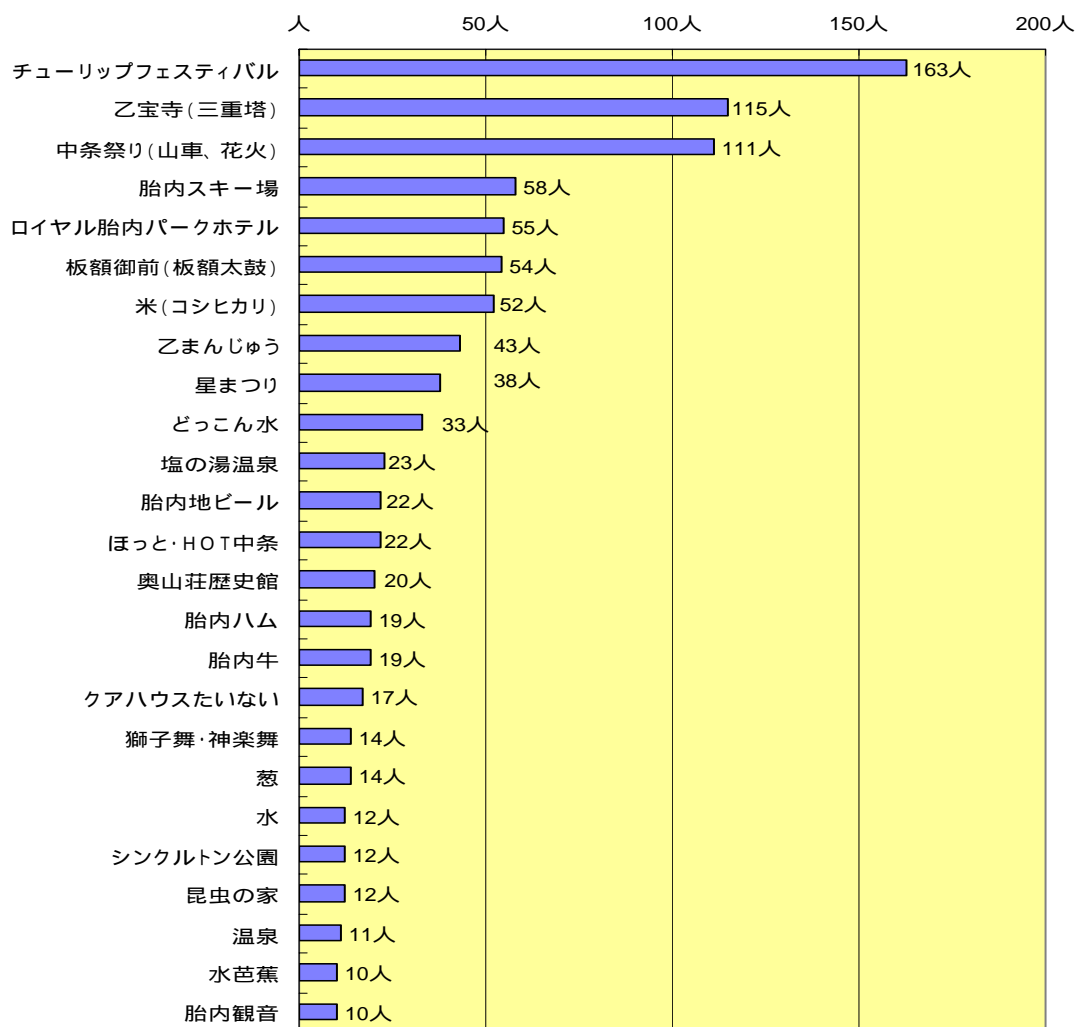


中条町の方からも多くの支持を集めた「奥胎内」が207人(14.46%)で一番高く、次いで、「日本海(夕日)・海岸・松林」184人(12.85%)、「櫛形山脈(からの景色)」105人(7.33%)、次いで「チューリップ畑」、「乙宝寺」、「胎内平」、「はまなすの丘」の順となっており、自然豊かな地域柄、山や海、川などのポイントが高くなっているといえます。

自慢できるもの(特産品やまつり、イベント、歴史、伝統、施設など)

この設問については、937人(回答者の53.6%)の方からご記入いただき、複数の記載を含め1,335の回答を26項目に分類しました。

(複数回答あり)



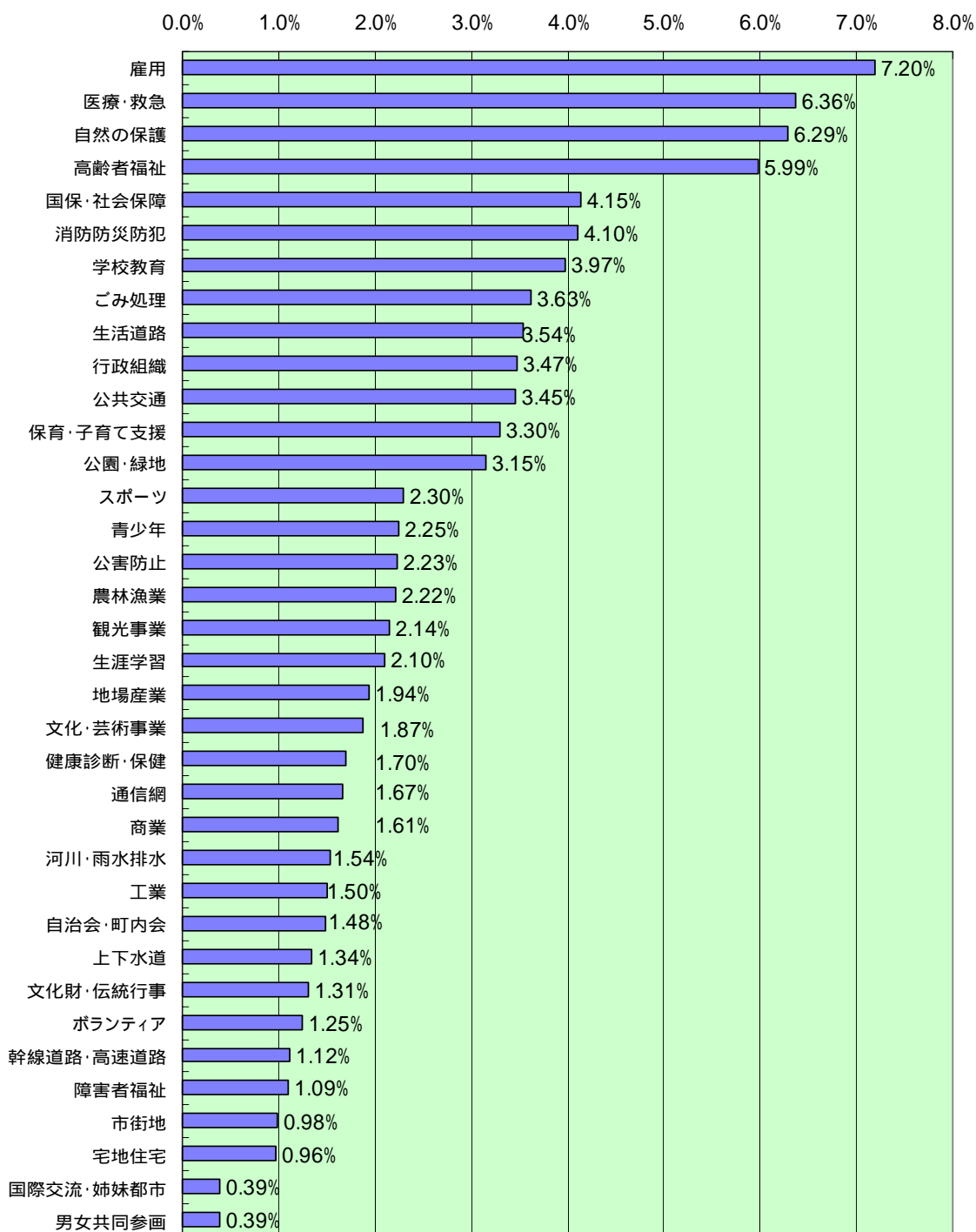
結果は「チューリップフェスティバル」163人(12.21%)が一番高く、次いで、「乙宝寺(三重塔)」115人(8.61%)、「中条祭り(山車、花火)」111人(8.31%)、以下「胎内スキー場」、「ロイヤル胎内パークホテル」、「板額御前(板額太鼓)」の順

で、観光スポット、観光イベントが上位を占めています。

(3) 期待する施策

この設問は、施策の中から具体的な住民の希望を聴取し、基本構想などのまちづくりに反映させるものです。

(複数回答 5選択まで)



「まちづくりを考えた場合、期待すること（施策）は何ですか」の問いには、「雇用対策の充実」を望む声が一番高く7.20%で、次いで、「医療施設・救急体制の充実」6.36%、「自然の保護」6.29%、「高齢者福祉、介護サービスの充実」5.99%、以下「国民健康保険など社会保障の充実」、「消防、防災、防犯体制の充実」、「学校教育の充実」の順となっています。

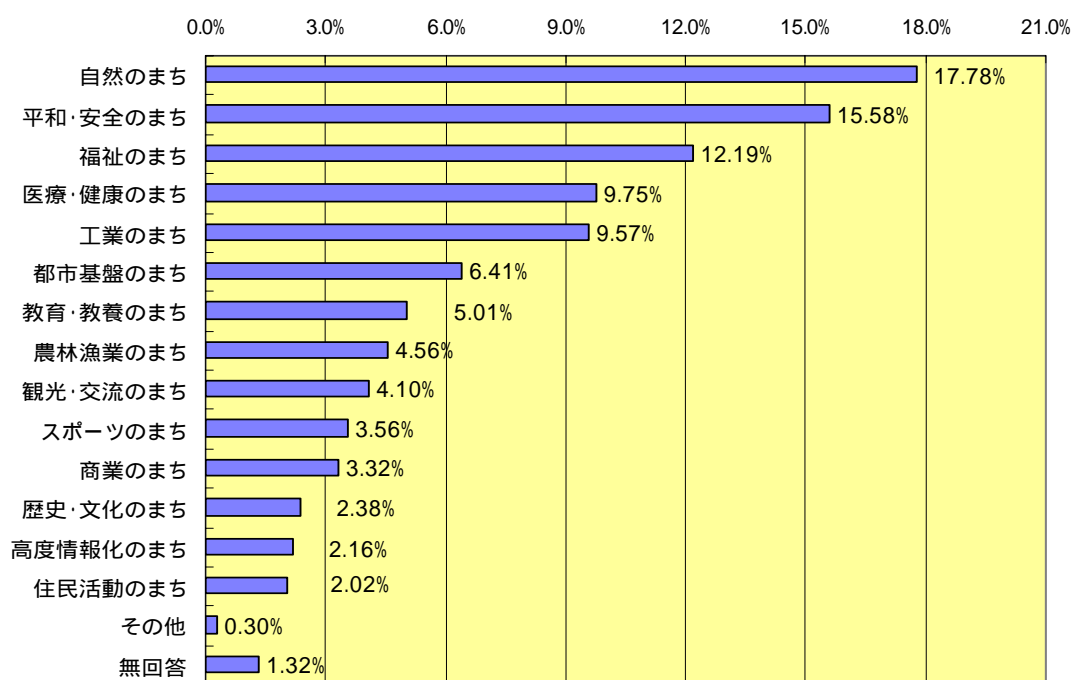
回答者の職業と年代をクロス集計すると、生産年齢人口といえる20歳代から50歳代において「無職」と答えた方の割合は4.3%（20歳代女性で6.7%、50歳代男性で6.5%）で、雇用対策は、厳しい社会情勢を反映した結果のようです。

（４）まちのイメージ

合併による新しいまちへの全体的なイメージを聴取し、基本的な方向性を考える上での参考とするため、「どんなまちにしたいか」という設問を用意しました。

結果、「自然の豊かなまち」が17.78%で一番高く、次いで「安全で平和に暮らせるまち」15.58%、「福祉充実のまち」12.19%、「健康でいきいきしたまち」9.75%、「工業のまち」9.57%の順となっています。

（複数回答 3選択まで）

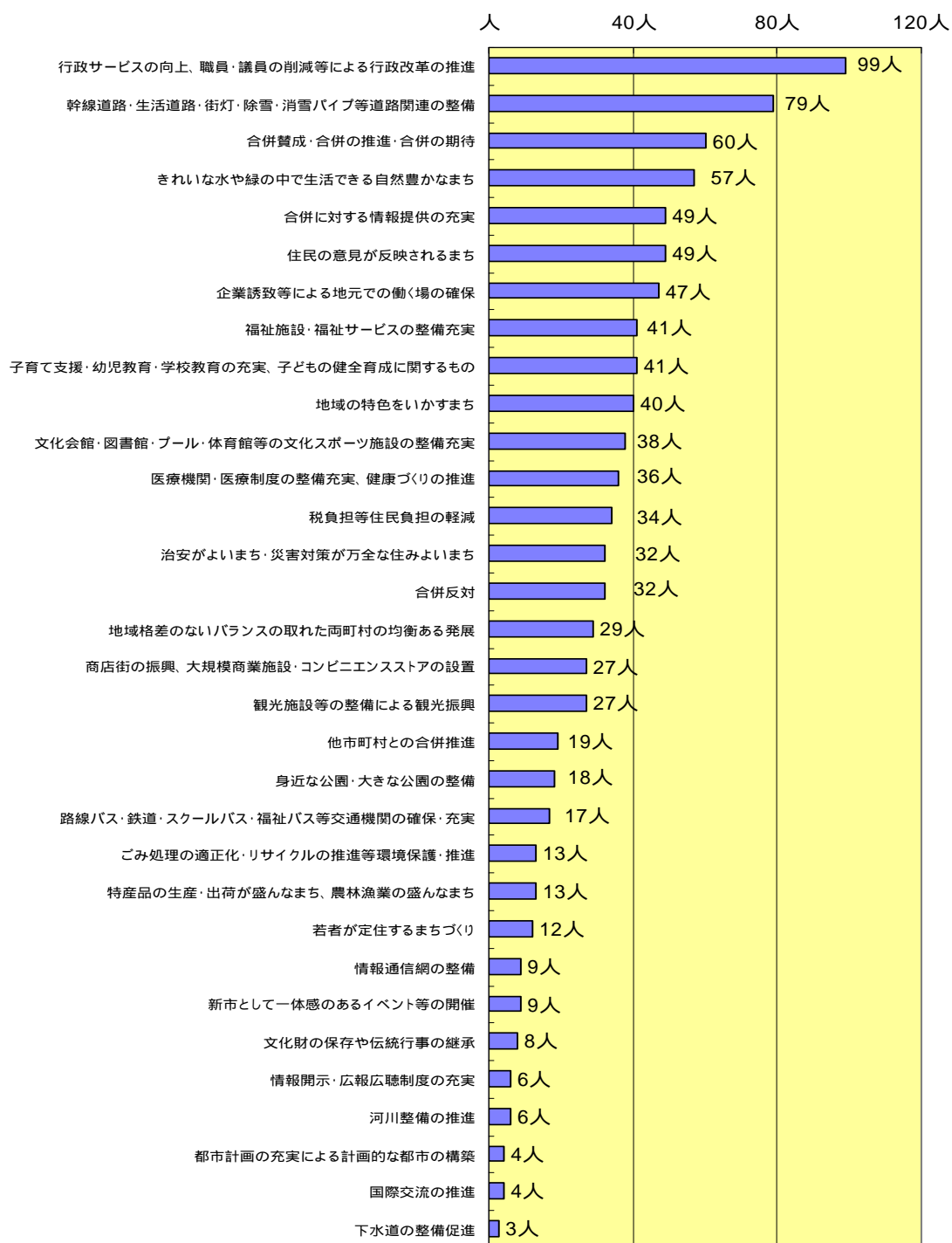


（５）その他の意見・要望

アンケートの最後に自由記載欄を設けて、合併やまちづくりに関して、ご意見・ご

要望を書いてもらいました。834人(回答者の47.7%)と多くの方々から意見・要望をいただき、複数回答を含め1,050回答を33項目に分類しました。

(複数回答あり)



一番多くいただいた意見・要望としては、「行政サービスの向上、職員・議員の削減等による行政改革の推進」99人(9.43%)、次いで、「幹線道路・生活道路・街灯・

除雪・消雪パイプ等道路関連の整備」79人(7.52%)、「合併賛成・合併の推進・合併の期待」60人(5.71%)、「きれいな水や緑の中で生活できる自然豊かなまち」57人(5.43%)、「合併に対する情報提供の充実」49人(4.67%)の順となっています。

一番意見の多かった行政サービスの向上・行政改革の推進については、今回の合併議論の背景でも触れられていますし、合併に関する数々のご意見については、協議過程で検証が必要と考えます。

3、結果分析

両地域は自然環境に恵まれています。アンケートの結果により住民の皆さんもそれを意識し、守り育てたいということが見て取れる結果となりました。特に山や川、海などの自然を活かし、新市のイメージとしての位置付けを望む声も多いことから、これを核としたまちづくりを考えていかなければなりません。

住民生活に関連した事項では、やはり福祉や保健・医療といった施策が重要であるといえますが、近年議論が高まっている防犯・防災に対する関心度や、道路や公共交通網などのインフラ(*16)整備にも期待が寄せられていることが分かります。

雇用対策については、雇用機会を拡大する必要があることから、産業の振興と密接な関係にあるといえます。農林漁業、観光、地場産業、商業、工業の振興など、産業の活性化に期待する数字の積み上げが9%を超えることを考え合わせますと、雇用に対する施策の充実とともに、各産業の一体的な振興・活性化を図ることが求められています。

また、ごみ処理に関する住民の満足度は高いものの、今後の施策にも期待する声も多く、環境問題に対する住民の関心度の高まりが伺えます。

自由記載欄では、行政サービスの向上や行政改革を望む声も多く、今回の合併議論が求める方向性と同じであることから、新市建設計画でも位置付けを明確にしていきます。

【用語解説】

(*16) インフラ...インフラストラクチャー (infrastructure) の略。経済の発展途上段階において必要な生産や生活の基盤になるもの。ダム・道路・港湾・鉄道・通信施設などの産業基盤、学校・病院・公園などの社会福祉や環境の施設をいう。